

政策体系	基本目標名	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり	施策主管課長	生涯学習課
	政策名	2	地域とともに学び育てるまちづくり		
	施策名	1	生活を豊かにする生涯学習の推進		
施策関係課	市民生活課、少年指導センター				三関 純一

1. 施策の目的と成果把握

施策の目的「対象」	この施策は、誰、何を対象としているか	対象指標				単位	R4	R5	R6	R7	成果指標設定の考え方	
	①市民 ②市内の青少年 ③生涯学習施設	① 市人口	人	115,700	114,695					①自発的に生涯学習に取り組んでいる状況を把握する。 ②学習成果を地域社会に還元する取り組み状況を把握する。 ③自立できる青少年が増えることは、青少年の健全育成が図れている表れと考えられるため。 ④楽習講師の開講数が、学習の場が提供できていると考えられるため。		
施策の目的「意図」	この施策によって、「対象」をどういう状態にするのか	成果指標（意図の達成度を表す指標）				区分	単位	R4	R5		R6	R7
	①主体的に学習し、その学習成果を地域社会へ還元する。 ②青少年が健全に成長する。 ③学習の環境が整う。	① 日頃から生涯学習活動に取り組んでいる市民の割合(単年度)	目標	%	31.0	32.0	33.0	34.0				
		② 学習成果を還元する取組を行う市民の割合(単年度)	目標	%	13.0	13.5	14.0	14.5				
		③ 自分が成長し自立したと感じる新成人の割合(単年度)	目標	%	93.5	94.0	94.5	95.0				
④ 楽習講師が社会還元した件数(年度ごとの講座実施数)		目標	件	310	320	330	340					
		実績		34.0	33.4							
		実績		28.0	24.8							
		実績		100.0	100.0							
		実績		159	184							

2. 基本事業の目的と成果把握

基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	単位	R4	R5	R6	R7	基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	単位	R4	R5	R6	R7
学習情報及び場の提供	①市民 ②生涯学習の拠点施設	①学習情報が提供されている。 ②学習の場が整備されている。	① 課HPへのアクセス数(単年度)	目標	件	69,000	73,000	77,000	81,000	学習成果を活かす取組	①学習して学んだ市民	①学習で培った知識、技術を社会へ還元できる。	① ボランティア登録者数(単年度)	目標	人	435	440	445	450
			② 生涯学習施設の利用者数(単年度)	目標	千人	1,010	1,010	1,010	1,010				② 社会活動をしている高齢者(単年度)	目標	%	52.5	55.0	57.5	60.0
			③	目標									③	目標					
			④	目標									④	目標					
青少年の健全育成	①青少年	①夢や希望を持ち、心豊かでたくましく成長している。	① 研修会等の参加人数(単年度)	目標	人	150	155	160	165	①学習して学んだ市民	①学習で培った知識、技術を社会へ還元できる。	①学習で培った知識、技術を社会へ還元できる。	① ボランティア登録者数(単年度)	目標	人	435	440	445	450
			② 企画事業への参加者数(単年度)	目標	人	500	600	700	800				② 社会活動をしている高齢者(単年度)	目標	%	52.5	55.0	57.5	60.0
			③	目標									③	目標					
			④	目標									④	目標					

3. 施策の目標達成度評価

施策	令和5年度施策の取組方針		施策の取組方針・成果指標達成状況	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習環境の向上を図るために通信環境を整備する。</li> <li>幅広い世代が学習できるよう、多様な学習メニューを用意し、広報さのや市ホームページ、佐野ケーブルテレビ等様々な媒体を利用して周知を図る。</li> <li>学習成果を自ら企画し発表できる各種講座等を開催し、特にシニア世代が地域社会に参加する機会を支援する。</li> <li>オンラインによる遠隔地の講師等の活用やデジタルを活用した講座など、新たな学習への対応を図る。</li> <li>青少年を対象とする体験的な学習を実施するとともに、青少年健全育成のための学習活動を実施している青年団体への支援を行う。</li> <li>図書館・公民館等を計画的に改修・修繕を行い、快適な学習の場の提供を行う。</li> </ul>	取組方針	<input type="checkbox"/> 全て達成 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	<p><b>【施策の取組方針達成状況】</b></p> <p>【未達成】通信環境の整備については、佐野中央公民館及び田沼中央公民館において調査を行ったところ、利用者から通信環境改善の要望が全く無かったことで事業を見送った。(中央公民館維持管理事業、田沼中央公民館維持管理事業)</p> <p>【達成】多様な学習メニュー及び周知については、242講座を用意し広報さのやホームページに掲載すると共に、メニューパンフレットを年2回(前期700冊、後期400冊)発行し学習情報を提供することで周知が図れた。(楽習出前講座開催事業、各地区公民館市民教養講座開催事業)</p> <p>【達成】各種講座の開催及び地域社会への参加支援については、学習成果を発表する場として生涯学習フォーラムや楽習講師による企画講座を開催した。また、地域社会への参加支援としては、楽習出前講座を充実させた。(生涯学習フォーラム開催事業、楽習出前講座開催事業、生涯学習推進支援事業)</p> <p>【未達成】オンラインによる講師の活用等については、開催方法等の変更により実施できなかったが、デジタルを活用した講座については増加の傾向となっている。(生涯学習フォーラム開催事業、楽習出前講座開催事業、生涯学習推進支援事業、生涯学習に関する職員等研修会事業)</p> <p>【未達成】青少年の健全育成については、二十歳のつどい、ここつとゆーずは例年通り開催できたが、佐野戸屋交流事業については台風が九州直撃であったため中止となった。また、ジュニアリーダー研修会も、コロナ等の影響により中止となった。(二十歳のつどい開催事業、青少年活動育成促進事業、佐野・戸屋青少年交流事業、子ども会ジュニアリーダー研修会、佐野市子ども会連合会支援事業等)</p> <p>【達成】快適な学習の場の提供については、市内各図書館、地区公民館等の計画的な改修、修繕を実施した。(図書館設備等改修事業、各地区公民館等改修事業、各地区公民館等維持管理事業)</p>
<input type="checkbox"/> 全て達成 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成			<p><b>【施策・基本事業の成果指標達成状況】</b></p> <p>【達成】日頃から生涯学習活動に取り組んでいる市民の割合は、33.4%であった。(生涯学習フォーラム開催事業、楽習出前講座開催事業、生涯学習推進支援事業)</p> <p>【達成】学習成果を還元する取組を行う市民の割合は、24.8%であった。(生涯学習フォーラム開催事業、楽習出前講座開催事業、生涯学習推進支援事業)</p> <p>【達成】自分が成長し自立したと感じる新成人の割合は、100%であった。(二十歳のつどい開催事業)</p> <p>【未達成】楽習講師が社会還元した件数は、184件で目標に届かなかった。(生涯学習推進支援事業)</p> <p>【未達成】課HPへのアクセス数は、33,184件で目標に届かなかった。(楽習出前講座開催事業、各地区公民館市民教養講座開催事業、市民大学開設事業)</p> <p>【未達成】生涯学習施設の利用者数は、743,500人で目標に届かなかった。(図書館等指定管理事業、各地区公民館市民教養講座開催事業、市民大学開設事業、各地区公民館等改修事業、各地区公民館等維持管理事業)</p> <p>【未達成】ボランティア登録者数は、309人で目標に届かなかった。(楽習出前講座開催事業、生涯学習推進支援事業)</p> <p>【未達成】社会活動をしている高齢者は、44.8%で目標に届かなかった。(生涯学習フォーラム開催事業、楽習出前講座開催事業、生涯学習推進支援事業)</p> <p>【未達成】研修会等の参加人数は、65人で目標に届かなかった。(青少年活動育成促進事業、佐野・戸屋青少年交流事業、子ども会ジュニアリーダー研修会)</p> <p>【未達成】企画事業への参加者数は、180人で目標に届かなかった。(佐野市子ども会連合会支援事業、葛生ジュニアリーダースクラブ支援事業)</p>	

4. 施策の基本情報

施策の基本情報	社会情勢変化、国・県の動向、市民・議会意見等	施策の成果向上に向けての役割分担		
	・平成27年6月議会において、本市の生涯学習の推進に関し、生涯学習推進基本計画策定後の経過と今後、人材育成等将来を見据えた生涯学習の推進、全市民的に推進していくための生涯学習の拠点等についての質問があった。また、平成28年12月には、佐野市社会教育委員会から(仮称)生涯学習センター設置についての提言書が提出された。 ・新型コロナウイルス感染症の発生以来、感染拡大防止のため、各種講座等を開催できない状況が続いたが、令和5年5月に感染症の扱いが2類から5類に分類されたことにより、出前講座の開催等、生涯学習の推進に向けた取り組みが再開できるようになったが、コロナ禍前の水準までには回復できていない状況である。	市民	事業所	行政

5. 施策全体の総括・今後の課題・今後の方向性

施策の成果実績と施策の基本情報及び施策コストに関する全体総括	今後の課題	今後の方向性
<p><b>【総括・今後の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各中央公民館にヒアリングを実施した結果、利用者から通信環境改善のニーズは無いとの結果となった。</li> <li>多様な学習メニューは概ね準備できたと思うが、周知の部分で市のホームページの閲覧数が目標値に届かなかった。</li> <li>各種講座の開催及び地域社会への参加支援については、コロナ禍からの開催方法の見直しにより概ね達成できたと思う。</li> <li>今年度はオンラインによる講師の活用等について、コロナ禍からの会議等の形態(開催方法)変更により実施できなかったが、オンラインによる講習受講など需要はあるため、今後も取り組んでいく。</li> <li>青少年の健全育成については、大きな事業として「佐野・戸屋青少年交流事業」があるが、令和5年度はコロナ禍からの開催方法の変更により準備を進めてきたが、訪問先の戸屋町に台風が直撃し急遽中止となった。今年度は、佐野での受け入れのため、開催できるよう準備する。</li> <li>図書館・公民館等の計画的な改修・修繕については、令和7年度まで活用できる起債を活用し計画的に進め、快適な学習の場の提供を行う。</li> </ul> <p><b>【施策コスト】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当施策の令和5年度の決算額は、約4億1,150万円で、前年度の約3億3,768万円に比べ約7,382万円の増となった。</li> <li>主な要因は、計画的に実施している公民館等の改修、修繕額の増による。</li> </ul>	<p><b>【令和6年度で解決する課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特になし</li> </ul> <p><b>【令和7年度以降にも引き継がれる課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①学習メニューの周知</li> <li>②デジタルの活用による講習や講座の開催</li> <li>③青少年の健全育成に係る研修や交流会の開催</li> </ul> <p><b>【令和7年度重点課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>④各地区公民館を始めとする社会教育施設の改修による学び及び発表の場の提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①従来の周知方法に併せ、わかりやすく繰り返し効果的に情報発信を行う。</li> <li>②各講座の内容を精査し、オンライン講座などICTを活用した新たな取り組みを検討する。</li> <li>③青少年健全育成の柱である4事業、「佐野・戸屋青少年交流事業」、「二十歳のつどい開催事業」、「青少年活動育成促進事業」、「子ども会ジュニアリーダー研修会」を全て開催する。</li> <li>④老朽化する社会教育施設については、大規模改修を余儀なくされる施設が多く、緊急防災減災事業債の活用が効果的であるため、令和7年度完了を目標に進める。しかし、文化会館の改修(3年間)により、令和7年度までに着手できない施設もあることから、8年度以降も大規模改修が必要な施設(田沼中央公民館)が残るため、今後も引き継がれる課題としたい。</li> </ul>